

伊手振興会便り 8月号

伊手振興会(伊手地区センター) 〒023-1761 奥州市江刺伊手字西風54番地
TEL・FAX 0197-39-2121 E-mail ideshink@pup.waiwai-net.ne.jp



第58回伊手地区民大運動会開催

7月14日に実行委員会を開催、日程や競技内容等が決まりました。玉入れ競技についてですが、前年は入った玉が点数として加点されていましたが、今年は団体得点での点数配分となります。ロードレースを兼ねた伊手地区内一周駅伝競走大会も同日に開催されます。伊手小学校児童の獅子踊、婦人会の売店や幼児おたのしみかけっこ等も楽しみです。今年の江刺地区民運動会は伊手地区が運営に係り、伊手スポーツ広場での開催となります。選手選考を兼ねたこの運動会、優勝はどここの自治会になるのでしょうか。お誘いあわせのうえ、運動会へお越しください。

- ★開催 8月26日(日)午前9時開会(雨天中止)
- ★場所 伊手スポーツ広場
- ★競技 けつ圧測定、水入れ競走、玉入れ、2人3脚リレー、ロードレース、障害物リレー、むかでリレー、ボール送り、行政区対抗リレー
- ★伊手在住にかかわらず出身者も参加できます。



～「医療と介護のおきがる講座」～

6月19日に開催、岩手県立江刺病院院長川村秀司先生の誰もがいつかは向き合わなければならない老後や介護、死生観についての厳しい現実の話を行い、哀しみが胸に広がりました。

自分や家族の将来のことを思い、皆さんにエンディングノート「わたしの生き方ノート」を活用して頂きたいです。



～「空き家等対策講座」～

7月12日に開催、生活環境課空家対策室主査金野靖之氏が空き家の生じる要因や状況、問題について管理の促進、利活用の推進、相談体制の充実で対策をしていく方針を話して頂きました。

所有者・管理者の方々は近隣・地域に与える影響を考えて、空き家化の予防・空き家等の利活用をしましょう！

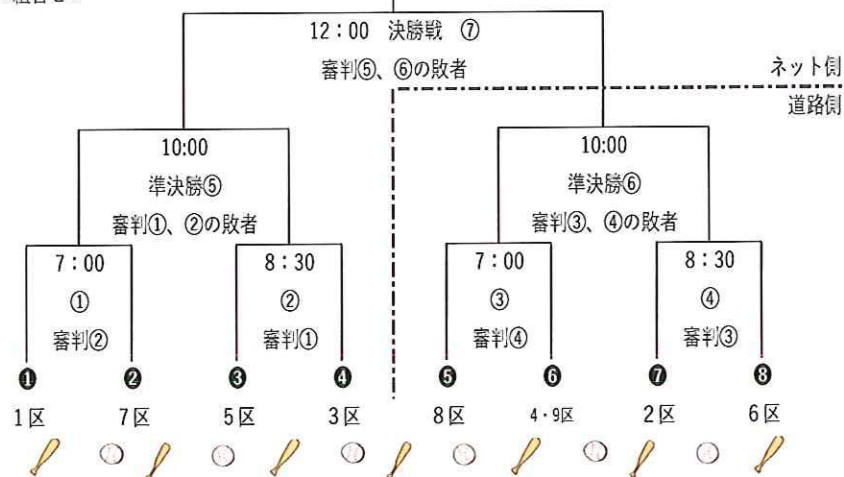


第37回伊手地区お盆野球大会開催 組合せ決まる!!

グラウンド整備が終わって初使用！？
となるお盆野球大会です。小学生以上の
参加とし、お盆で帰省中の方も参加でき
ます。去年は雨天のため中止でしたが、
今年は晴れますように！

日 時 8月15日(水) 7:00 試合開始
場 所 伊手スポーツ広場

<組合せ>



3位おめでとうございます

7月10日に開催された第12回奥州市江刺いきいきシニアス
ポーツ大会で伊手チームは第3位と素晴らしい結果を残しま
した。40人ほどの選手たちに佐藤信会長は「結果にこだわら
ず、けがをしないように」と開会前に話していましたが、結果
にこだわる人たちが集まったのでしょね(笑)
9月に開催される県大会に何かの競技でお声か
かるともかもしれません。
暑い中お疲れ様でした。



順位	地区名	得点
優勝	愛宕	96
準優勝	玉里	86
第3位	伊手	72
第4位	岩谷堂	68
第5位	藤里	66
第6位	米里	64
第7位	田原	58
第8位	稲瀬	47
第9位	梁川	40

「ぶつかるよ ながら運転 じこのもと」

夏の交通事故防止県民運動が始まります。夏場を迎え、暑さや長距離運転による
過労から重大事故の発生が起こらないように交通ルールを守り、家庭や職場等で運
転に気を付けるよう声掛けをしましょう。また、伊手地区の取り組みとして岩明交
通安全塔付近で8月4日(土)午前8時から啓発活動を実施します。



★ 実施期間 8月1日(水)から10日(金)までの10日間

★ 運動の重点

- ① 暑さなどによる過労運転の防止
- ② 夏休み中の子どもの交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶

7月7日伊手地区戦没者合同慰霊祭が 開催されました

今年は雨のため、地区センター体育室で伊手地区戦没者
合同慰霊祭が行われ、70人ほどが参列しました。戦後73年
がたちます。若くして
尊い命が失われた戦争
のことを忘れること
のないよう恒久平和を祈
念しました。



生活安全部からの報告

7月25日(水)に生活安全部
の研修会を実施する予定でし
た。いろいろとご配慮いた
だきましたが参加者数が少な
いため中止といたしました。

環境保健部研修会

胆江地区衛生センターに行ってきました！



7月19日「胆江地区衛生センター」を見学、ごみの搬入方法の説明を、ごみクレーンで粉碎・混合後、中央制御室で管理しながら乾燥・燃焼・後燃焼の階段式ストーカにより効率よく焼却すること、そして灰や排ガス、汚水等もそれぞれの方法で処理して排出するクローズドシステムで環境への配慮を万全にしていることを学びました。また焼却で発生する熱は施設内および胆江ふれあいセンターの空調・給湯などに有効利用しています。



第2回奥州市環境大会が開催されます！



キリバス国旗

8月22日(水)午後1時から4時まで、奥州市環境大会が奥州市文化会館中ホールで開催されます。エコ・環境展示やダンボールコンポスト無料モニター募集、小型家電回収も行います。午後2時25分から3時45分には、講師のケンタロ・オノ氏による環境講演「いま伝えたい地球温暖化最前線国・キリバスのこと～いつまで他人事？～」が行われます。皆さんご来場ください。

《ご案内》 伊手もっと知ろう事業夏休み勉強会！開催します！



8月6日(月)午後1時に伊手地区センターに集合！今年は“人と接するお仕事”をテーマに養護老人ホーム江寿園と種山高原星座の森を見学します。参加費は無料、バスでの移動です。申込みは地区センター(39-2121)に電話してください。まだ間に合いますよ！



「ノルディックウォーキング教室」開催！

日時：9月7日(金)、14日(金)

午前10時～11時30分(全2回)

場所：江刺カルチャーパーク多目的グラウンド
江刺中央体育館アリーナランニングコース

※雨天時は江刺中央体育館(アリーナ)使用

参加料：1回300円(保険料等) 定員：30人

服装：動きやすい服装

持ち物：運動靴・上履き、飲み物、タオル

申込締切：8月31日(金)

問合せ・申込み：江刺中央体育館(電話 31-2100)

「ILCサポーターズ 6万人署名運動」について

ILC実現に向けて、一人でも多くの皆さまの署名をお願いします。

対象：ILC実現を応援して下さる方
参加方法：登録書又は宣言書に氏名等を記載し、奥州市ILC推進連絡協議会事務局へFAX(22-2533)、メール(ilc@city.0shu.iwat.jp)、郵送
参加申込期限：

第1回平成30年7月30日(月)

第2回平成30年8月17日(金)

※伊手地区センターへの持参可。

万が一に備えて防犯意識を高めましょう

【日頃からの準備】

- ◇ 食料・衣類や懐中電灯、ラジオ等の非常持出品の準備をしておく。



- ◇ 家族との連絡手段や避難場所の確認をしておく。

- ◇ テレビやタンス、家具等の転倒防止措置をとる。

【地震が発生！】

- ◇ 家の中にいたら…
 - ・まず火の始末。
 - ・落下物や家具の転倒、ガラス破片に注意！
 - ・慌てて外に飛び出さない！

【集中豪雨！】

- ◇ 気象情報を確認する。
- ◇ 危険な土地では、いつでも避難できる準備を。
- ◇ 避難する場合は、持ち物を最小限にして両手が使えるようにしておく。

夏の交通事故防止県民運動！

～ぶつかるよ ながら運転 事故のもと～

平成30年8月1日(水)～10日(金)までの10日間

【運動の重点】

- ① 暑さなどによる過労運転の防止
 - ② 夏休み中の子供の交通事故防止
 - ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート正しい着用の徹底
 - ④ 飲酒運転の根絶
- 《暑さなどによる過労運転に注意しましょう》
○ 夏場は、ぼんやり運転・居眠り運転等により、対向車線へのはみ出しによる正面衝突事故、路外逸脱する単独事故が増加する傾向があります。
- 《子どもを交通事故から守りましょう》
○ 夏休みを迎え、子供の行動範囲が広がる時期です。保護者の皆さんは、子供に対して、決して道路に飛び出さず、危険が予想される場所では「止まる・見る・待つ」を徹底するように、繰り返し指導しましょう。
- 《シートベルトが命を守る》
○ シートベルト、チャイルドシートは大切な命を守る「命綱」です。運転手の皆さんは、車に乗った全ての人にシートベルトを正しく着用させましょう。
- 《飲酒運転の根絶》
○ 飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。お酒を飲んだら車の運転は絶対にやめましょう。



伊手駐在所だより

奥州警察署
伊手駐在所
☎39-2215

交通死亡事故情報

交通事故 死者数 **31人** (7月6日現在)

○ 水沢地内で交通死亡事故発生 !

7月2日(月)水沢字川原小路の市道において、軽四輪乗用車が交差点を右折した先で、道路横断中の歩行者と衝突する交通事故が発生し、歩行者の方が死亡する交通事故が発生しています。

【運転するみなさんへ】

今日の体調はいかがですか？

安全運転できますか？

暑い日が続いています。体調は万全ですか？夏場は暑さでよく眠れず、睡眠不足になったり、強い日差しや暑さで疲れやすくなり、過労によるぼんやり運転や居眠り運転に繋がります。

無理せず安全運転に努めましょう。



伊手駐在所から

▼ 江刺内では、未だにクマの出没が相次いでいます。クマに注意を！

▼ 7月下旬には、各小中学校は夏休みに入ります。心配されるのは、夏休みの開放感からの交通事故や非行・犯罪被害等です。地域ぐるみで児童・生徒を守りましょう。



キノコ採りによる遭難事故の防止について

～山の恵みの収穫よりも安全第一で！～

1 「キノコ採り」に伴う遭難事故の発生状況

県内の昨年の1年間でキノコ採りに伴う遭難は、5件5人の発生で、死亡3人、無事救出者2人となっており、平成28年比では9件、10人の減少となっています。

○ 「キノコ採り」遭難の原因

道迷い2件、病気・疲労2件、転落・滑落1件でした。

○ 「キノコ採り」遭難の特徴

遭難者は、5人中4人が65歳以上の高齢者で80パーセントを占めています。

2 「キノコ採り」における注意事項

山に出掛ける方は、次のことに注意しましょう。

- 家族に行き先、帰宅時間を知らせて出掛けましょう。
- 山の天気は変わりやすく危険です。
- 山では、自分の位置を確認しながら行動しましょう。
- 万が一に備えて、携帯電話、食糧、雨衣、懐中電灯などを持参しましょう。
- 山での発病は大事に至ります。自分の体力、健康状態に応じた行動をとり、無理をしないようにしましょう。
- 熊に出会う事も予想されるので、笛・鈴・ラジオ等熊よけの工夫をしましょう。
- 2人以上で入山しましょう。
- 万一遭難したら、夜間の行動はやめて翌朝まで待機しましょう。

